

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	21101
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス									
2. 科目名	生命・食・環境のサイエンス											
	学問分野	番 号	33	名 称	農学 (農学, 水産学等)							
3. 担当教員	小櫃 剛人 生物圏科学研究科 他 14 名											
4. 開講学期	前期 週 2 コマ											
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 30 年 4 月 9 日 (月) ~ 平成 30 年 6 月 4 日 (月)											
	12 時 50 分 ~ 16 時 05 分											
個別開講日	1 回目	4/9	2 回目	4/9	3 回目	4/16	4 回目	4/16	5 回目	4/23	6 回目	4/23
	7 回目	5/7	8 回目	5/7	9 回目	5/14	10 回目	5/14	11 回目	5/21	12 回目	5/21
	13 回目	5/28	14 回目	5/28	15 回目	6/4	16 回目	/				
6. 募集定員	30 人											
7. 科目内容・ 授業計画	<p>現代の人類が抱えている食料問題や、資源動植物や食品のサイエンス、人と自然が共存するための環境問題などに関する話題を提供する。 15 名の教員によるオムニバス形式で、月曜日に 2 回分を連続で行なう。内容と担当者は以下の通りである (順不同)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命のしくみ：細胞の姿 (船戸)、呼吸と光合成 (手島)、発生のしくみ (国吉) ・牧場からのめぐみ：飼料から畜産物への変換 (小櫃)、健康な動物による安全な食べ物の生産 (吉村)、人間動物関係学入門 (谷田) ・大地のめぐみ：土壌の役割 (富永)、遺伝子組換え植物の作製と利用 (藤川) ・海と川からのめぐみ：海の生産を支える環境 (小池)、カキ筏の生物群集 (斉藤)、藻場は魚の「ゆりかご」 (小路) ・めぐみの利用：腸内細菌と健康 (鈴木)、食の安全と食中毒 (中野)、食資源の多様性と生物進化 (平山) ・食卓へー恵みの豊かさを問う：食料を作る担い手たち (細野) 											
8. 受講料	2,000 円											
9. 別途負担費用	テキストは、「生命・食・環境のサイエンス」(江坂宗春監修, 共立出版, 2011 年) 2,600 円+税 (テキストは, 大学生協で購入することができます。初回の講義時に指示します。)											
10. 学習記録	交付する				<input type="checkbox"/> 交付しない							
11. 科目等履修生	受け入れる				<input type="checkbox"/> 受け入れない							
	単位数	単位										
	受入学年	高校	年生以上 (二次募集時 年生)									
	試験・評価											
	特記事項											
12. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (7月13日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月14日(土)以降の開講科目は6月末まで)											
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと なし											
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学生物生産学部 https://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei											

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。